



本当のカービングターンをマスターしたい人のための必須アイテム

SKI STANCER

トレーニング用スキースタンス

レーサー・基礎スキーヤー対応

ナチュラルなスタンスを極める!



スキースタンスは、レーサー及び上級の基礎スキーヤーにとっては最新のカービングテクニック習得を、X脚や内脚の使い方に悩む中級スキーヤーにとっては、確実な矯正効果をもたらしてくれるスキートレーニングツールです。

Mサイズ 太股の一番太い所で30cm~50cmの方に適応

Lサイズ 太股の一番太い所で50cm~70cmの方に適応

Price : オープン価格

スキースタンスの特徴と効果

①自分の身体に合った正しいスタンス幅をマスターできます!

身長(体格)や種目によってスタンス幅は違います。空気の注入量を変える事で自分に合った正確なスタンス幅が保て、安定したスキー操作を可能にしてくれます。

②X脚が短時間で矯正できるようになります!

スタンスをもも間に挟む事で、膝下からだけのエッジングではない身体全体を使った体軸の長い内傾によるエッジングをマスターできます。

③必要以上の外向傾がなくなるようになります!

外向傾オーバーになるとターン内側の膝が外に突き過ぎズレの大きいターンとなってしまいます。スキースタンスでトレーニングする事により、ターン進行方向に対し適切な身体の向きが作れるようになり、その結果ロスのないターンが可能となります。

④後傾ポジションが短時間で矯正できるようになります!

スタンスを装着する事で、ももが立った状態になります。同時に腰が高く前に出て、さらに上体の前傾もしっかりとキープでき、結果的に正しい身体アングルが出来て後傾の矯正になります。

⑤ターン内側の股関節が柔らかく効果的に使えるようになります!

スタンスを着けることで股関節の可動域が広がるようになり、大きく内傾をした時に内脚の曲げが簡単に出来て柔らかく効果的に使えるようになります。

⑥左右交互に使用する事で不得意ターンの矯正になります!

骨格や筋肉量など、人には必ず左右の違いがあります。不得意ターンの方の外脚(右ターンが不得意なら左脚)にセットしてトレーニングする事により、外向傾やポジションなどの左右不均等が矯正され不得意ターンの解消、克服につながります。

⑦外スキーに正しくシッカリ乗れるようになります!

外エッジが立てられない、エッジ感覚が弱いなスキーヤーにはスタンスを横に押しつつぶすようにして滑るトレーニングで、正しいエッジング感覚を覚える事ができます。

スキースタンスは、すでにクラブチームやレーシングキャンプおよびスキースクールなどで実際に使用いただいております。その効果も実証されています。もし、あなたが初めてスキースタンスを使用するのなら、最初はその「滑りにくさき」にとまどう事でしょう。しかし、その違和感こそが矯正につながるのです。実際のトレーニングにおいては、フリー滑走から始め、あらゆる斜面を滑りながらスタンス感覚、内脚や外脚、身体と腰の向きなどを意識してみてください。

サイズ選びの目安は、Mサイズで太股の一番太い所が30cm~50cmの方、Lサイズで太股の一番太い所が50cm~70cmの方に、それぞれ適応します。

使用前の準備(セット)



製品は、インナーバッグとアウトターケースからなっています。使用しないときは別々に保管できます。なお、濡れたときは良く乾かして下さい



インナーバッグをアウトターケースのファスナー部より入れて空気を注入します。なお、空気の注入量は調整できます。ご自分のももも使いやすい大きさに調整して下さい。スタンスを両ももで挟んだときに腰痛より少し広めになるのが目安です



実際の装着について

Mサイズのストラップバンドは上下とも同じサイズですが、Lサイズのほうは、必ずストラップの裏はほうの上になるようにセットして下さい

- ①ゴム製のバンドの両端を強く引っ張るようにして止めます。
- ②装着位置が下過ぎますと、滑走中の膝の動きを妨げる恐れがあります。
- ③次に下のほうのストラップから、もももしっかりと装着します。
- ④最後に上のほうのストラップで締めて出来上がりです。

*インナーバッグおよびアウトターのゴムベルトは、ストブ・ヒーターなどに近付けないで下さい!